
新たな総合計画策定のための

小・中学生アンケート調査 結果概要



平成20年8月
厚岸町 まちづくり推進課

小・中学生アンケート調査の結果概要

1. 調査の目的

この調査は、新たな総合計画の策定にあたり、将来の厚岸町を担う小・中学生の皆さんが現在の厚岸町をどのように思い、そして将来どのようなことに期待しているのかをアンケート方式で回答してもらい、次代を担う子どもたちの意向を把握したうえで、これからの厚岸町の「まちづくり計画」に反映させるために実施した。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

町内の小・中学校に在学する小学校5・6年生の児童及び中学校の全生徒を対象とした。

(2) 配布・回収方法

配布及び回収を各学校に依頼して実施した。

(3) 調査時期

平成20年4月24日に配布し、平成20年5月15日までに回収を行った。

3. 調査の内容

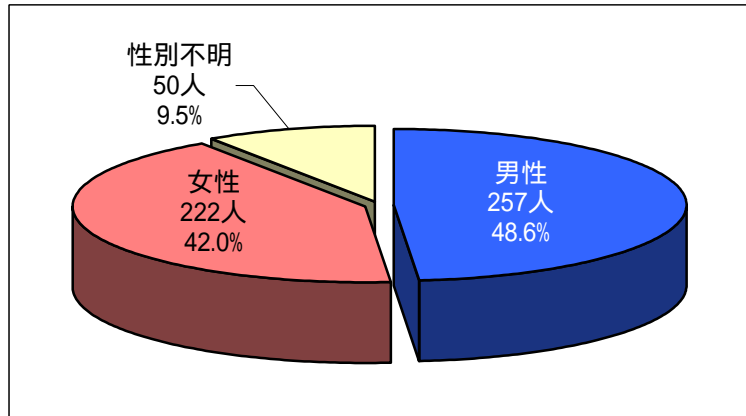
- 【問1】 回答者の属性(性別、学校)
- 【問2】 現在の厚岸町への思い
- 【問3】 将来の希望する職業
- 【問4】 今後の居任意向
- 【問5】 今後の厚岸町の将来像

4. 回収結果

- (1) 配布数 543票
 - (2) 回収数 529票
 - (3) 回収率 97.4%
-
-

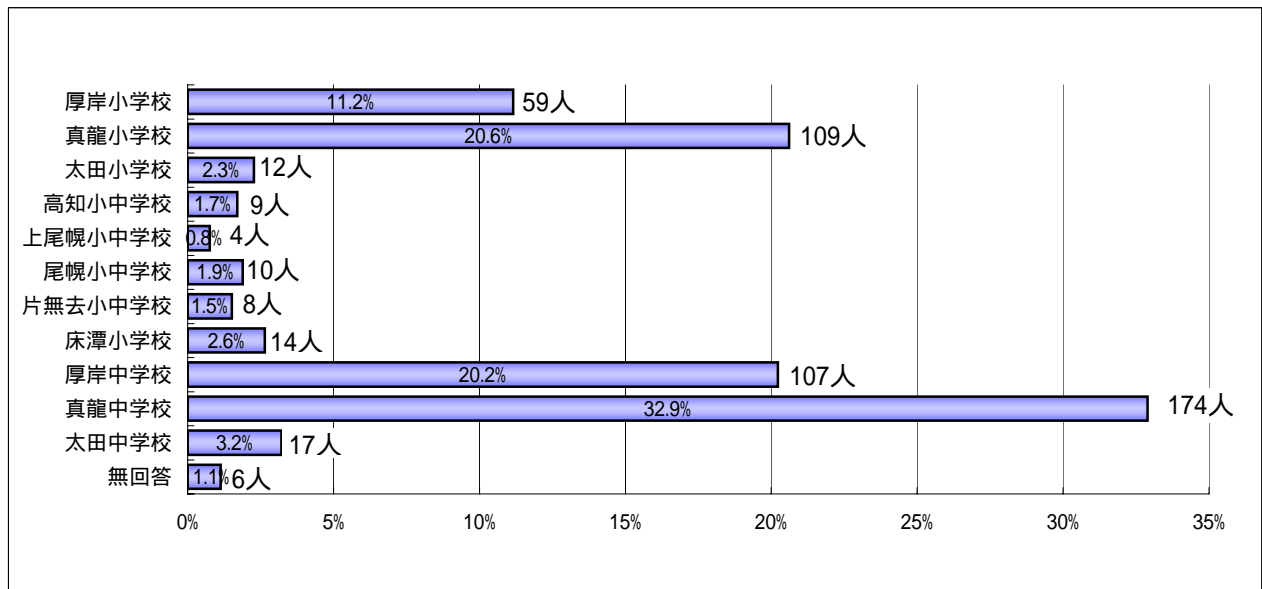
【問1】 ア 回答者の「性別」

回答者の性別は、「男性」が48.6%、「女性」が42.0%となっている。なお、対象者となる在校生の性別の割合は、「男性」52.5%、「女性」47.5%である。



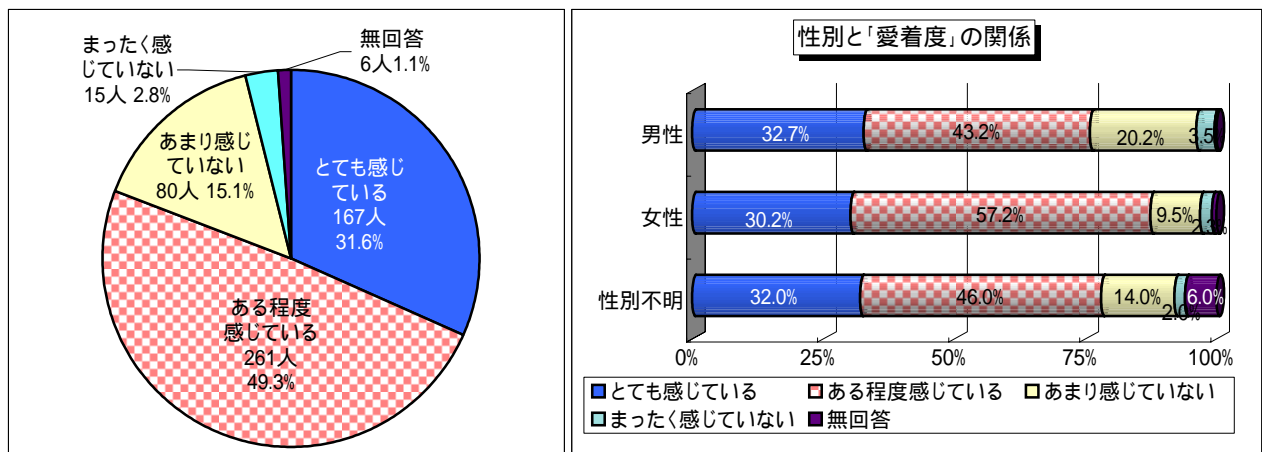
【問1】 イ 回答者の「通っている学校」

回答者の通っている学校の生徒数の割合は多い順に真龍中学校が32.9%、次いで真龍小学校が20.6%、厚岸中学校が20.2%、厚岸小学校が11.2%となっていて、全体の約85.0%を市街地の学校が占めている。



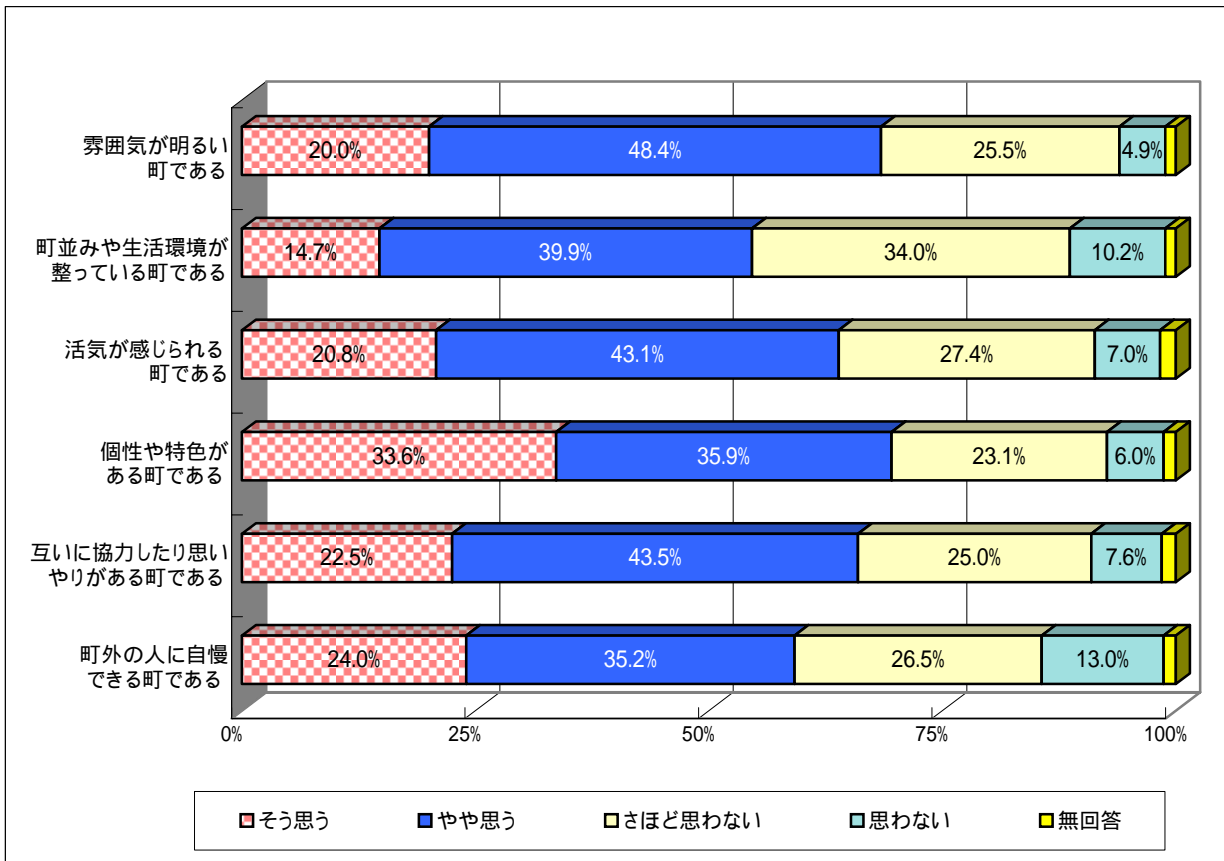
【問2】 ア 厚岸町に愛着や親しみを感じていますか。

厚岸町への愛着や親しみについては、「ある程度感じている」と回答した人が49.3%と最も多く、「とても感じている」と合わせると80.9%と高い割合を占めている。15歳以上の町民を対象とした町民意識調査が79.7%だったの比べると、ほぼ等しい割合である。また、性別で比較すると男性に比べ、女性の方が約9割の回答者が愛着を感じていると答えていて、高い割合となっている。



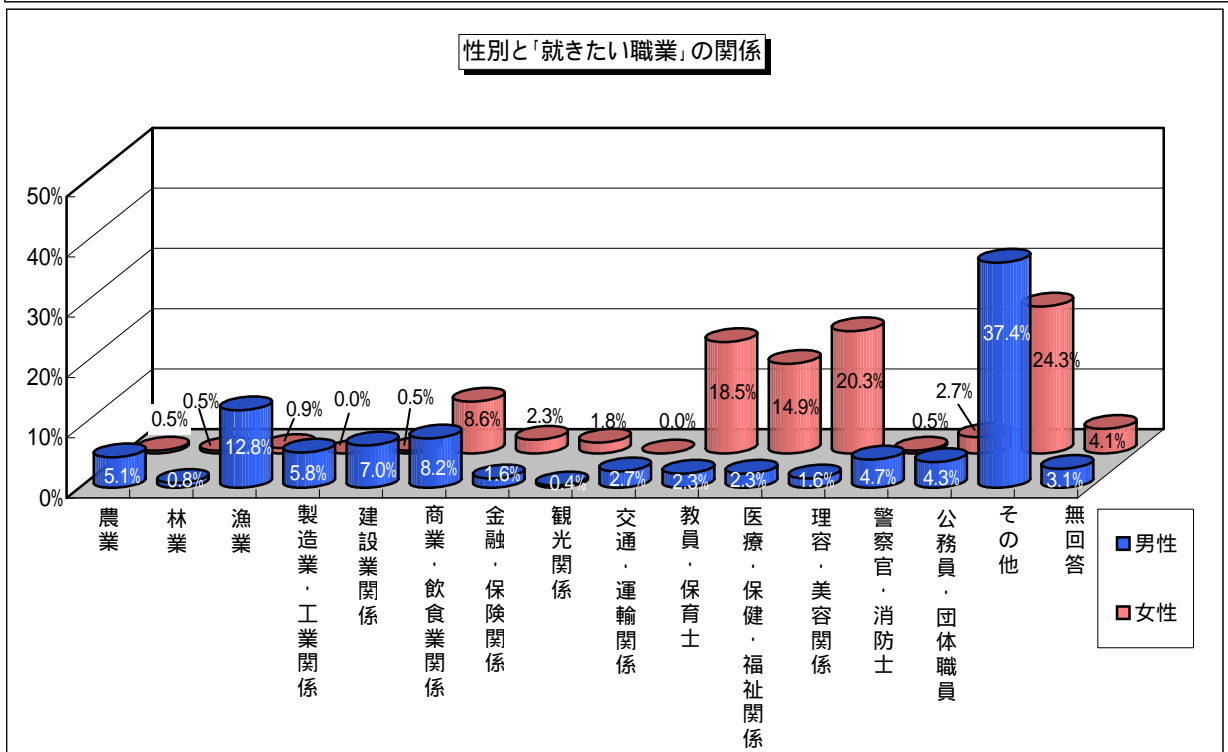
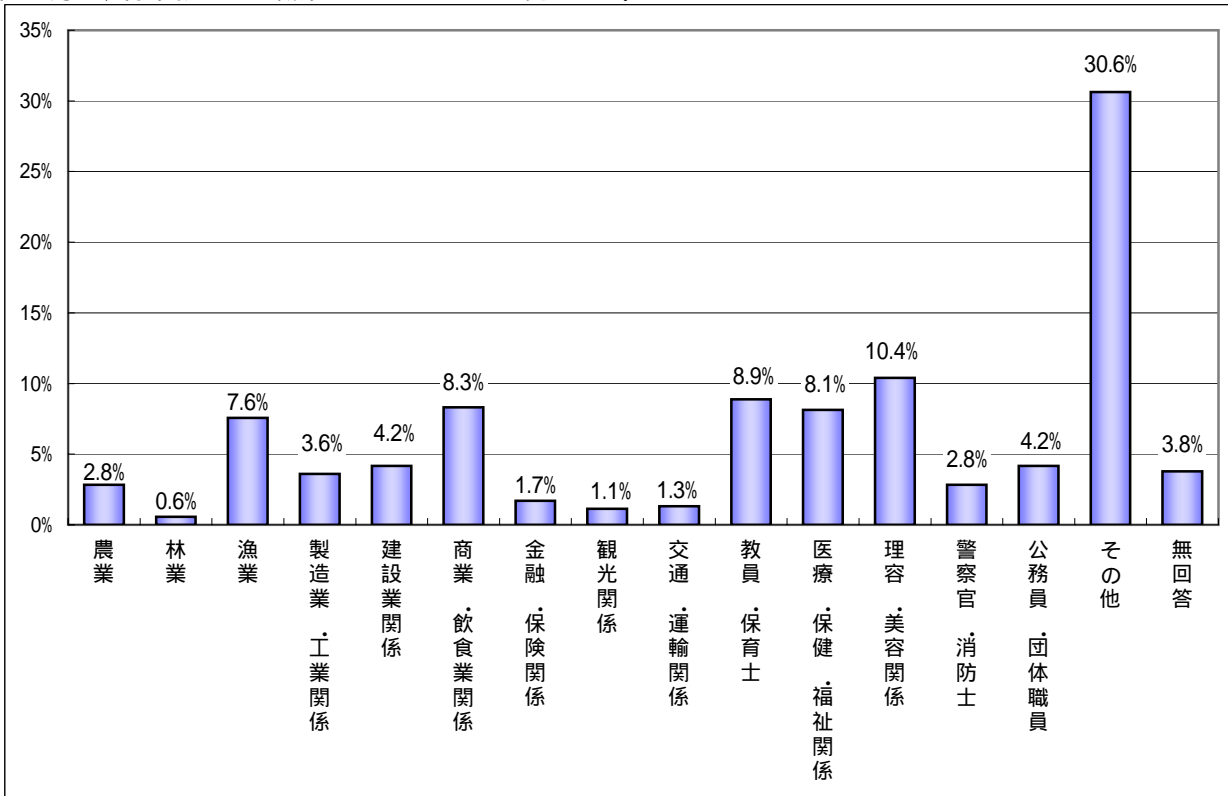
【問2】 イ 厚岸町をどのような町だと感じていますか。

全ての項目において、「そう思う」と「やや思う」を合わせた割合が「思わない」と「さほど思わない」を合わせた割合を上回っている。15歳以上の町民を対象とした町民意識調査と比べ、全ての項目で逆の結果となっている。また、項目別に見ると、「個性や特色がある町である」、「雰囲気が明るい町である」、「互いに協力したり思いやりがある町である」に関しては、回答者の約7割がそう感じられると答えていて、高い割合となっている。



【問3】 将来どのような職業に就きたいと考えているか。

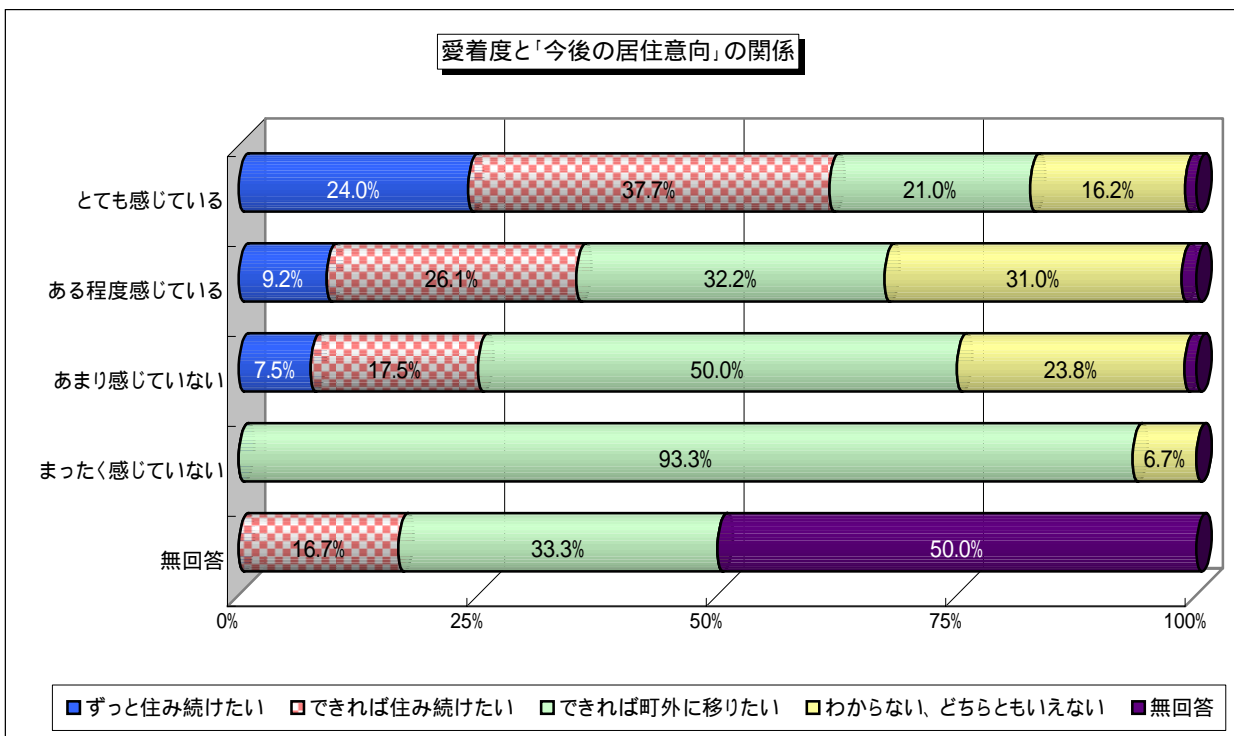
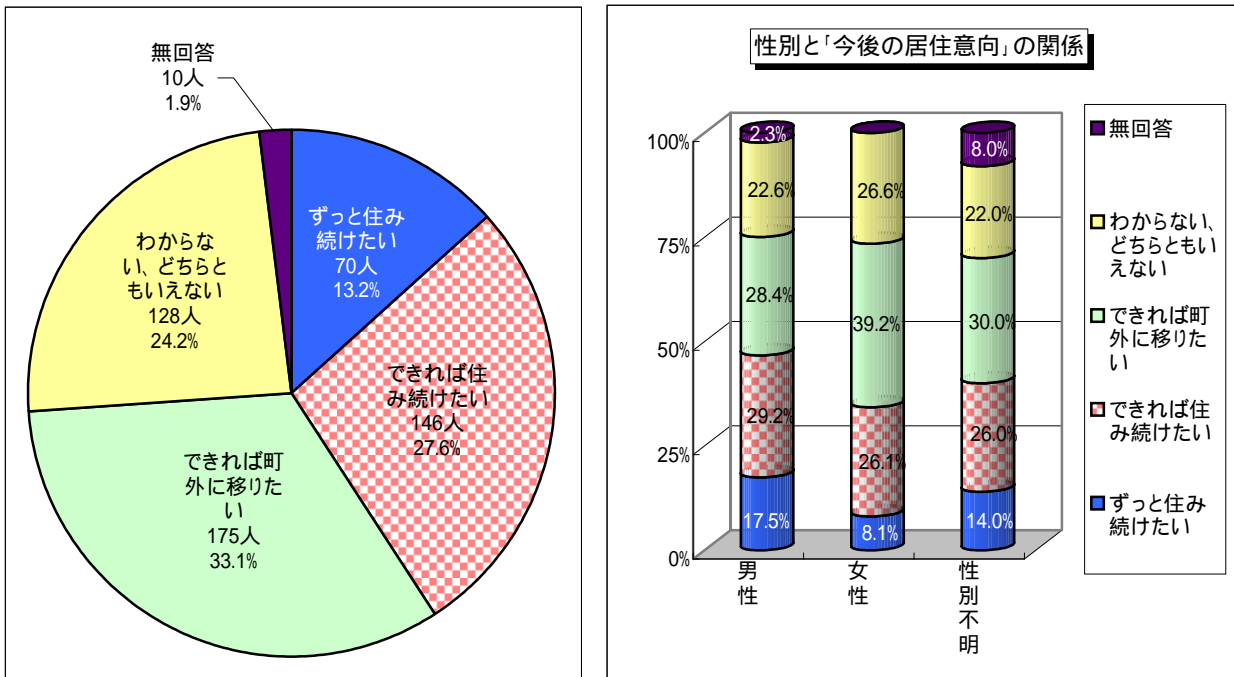
割合の高い順に、「その他」30.6%、「理容・美容関係」10.4%、「教員・保育士」8.9%となっている。「その他」の回答の中には、野球選手、サッカー選手などといった、「スポーツ選手」という回答が多くなっている。考え中、まだ決まっていないなどといった「未定」であるという回答が「その他」の約2割を占めている。また、性別で比較すると、男女共に、「その他」の割合が高く、次いで女性では、「理容・美容関係」20.3%、「教員・保育士」18.5%、「医療・保健・福祉関係」14.9%となっており、男性では、「漁業」12.8%、「商業・飲食業関係」8.2%となっている。女性に比べ男性の方が、将来就きたい職業にややばつきが見られる。



(注: 性別不明を除いて集計した。)

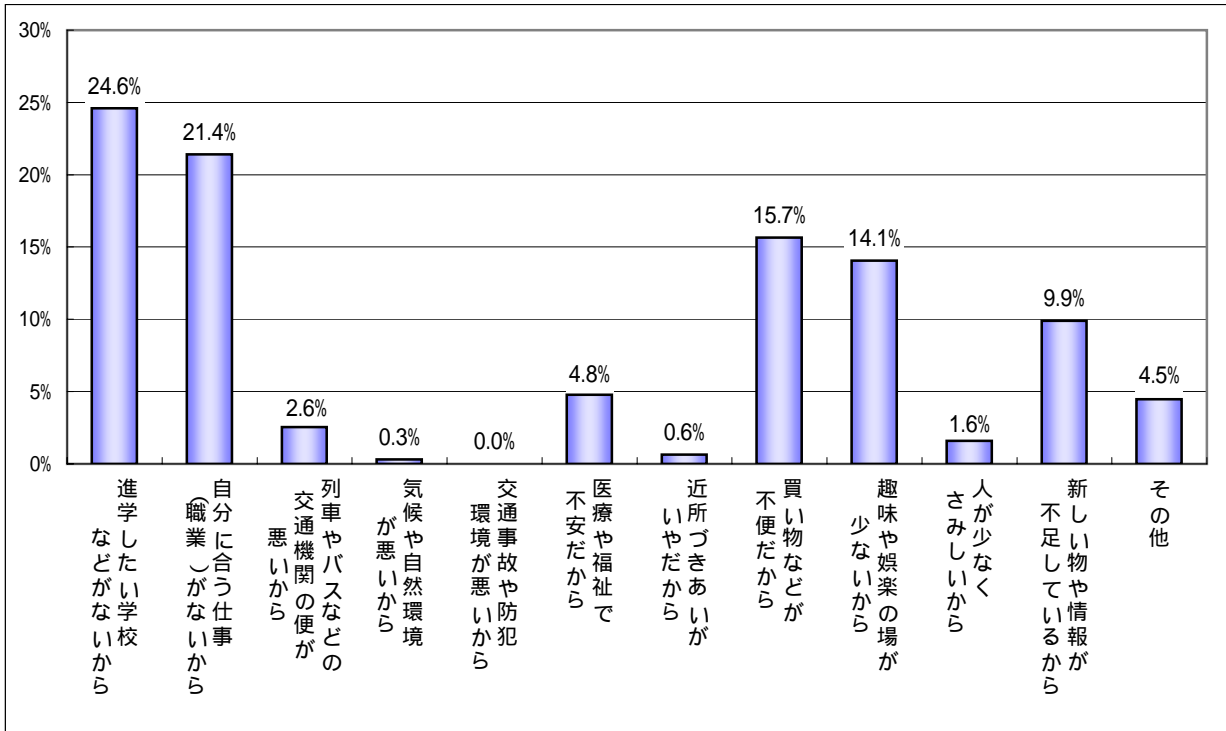
【問4(1)】 これからも厚岸町に住み続けたいと思いますか。

「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」と思う人を合わせた割合が40.8%で、15歳以上の町民を対象とした町民意識調査では、74.3%と高い割合だったのに対し、低い割合となった。また、性別と「今後の居留意向」の関係では、「できれば町外に移りたい」と回答した人の割合が、男性28.4%に比べ女性の方が39.2%で高い割合となっている。また、愛着度と「今後の居留意向」の関係では、当然のことながら、愛着が薄れるにつれて、「できれば町外に移りたい」と思う人の割合が高くなっているが、愛着を「とても感じている」人の中にも、「できれば町外に移りたい」と思う人の割合が21.0%となっている。

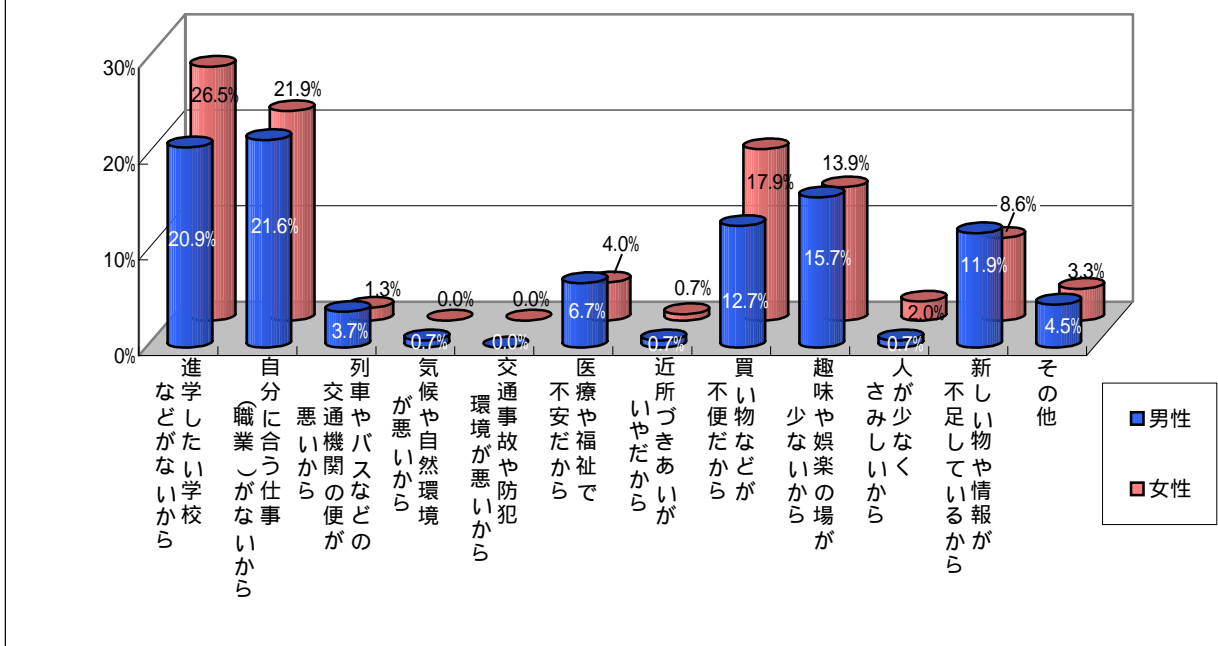


【問4(2)】 前の問で「できれば町外に移りたい」その主な理由はどのようなことか。(2つまで選択)

できれば町外に移りたい理由としては、「進学したい学校がないから」という回答が24.6%と最も多く、次いで、「自分に合う仕事(職業)がないから」が21.4%で、約5割の回答者が、今の厚岸町に進学や就職したい場所が無いと感じていることがうかがえる。以下、「買い物などが不便だから」15.7%、「趣味や娯楽の場が少ないから」14.1%、「新しい物や情報が不足しているから」9.9%となっている。また、性別で比較すると、女性では「進学したい学校がないから」が最も多く26.5%、男性では、「自分に合う仕事(職業)がないから」が21.6%で最も多い結果となった。



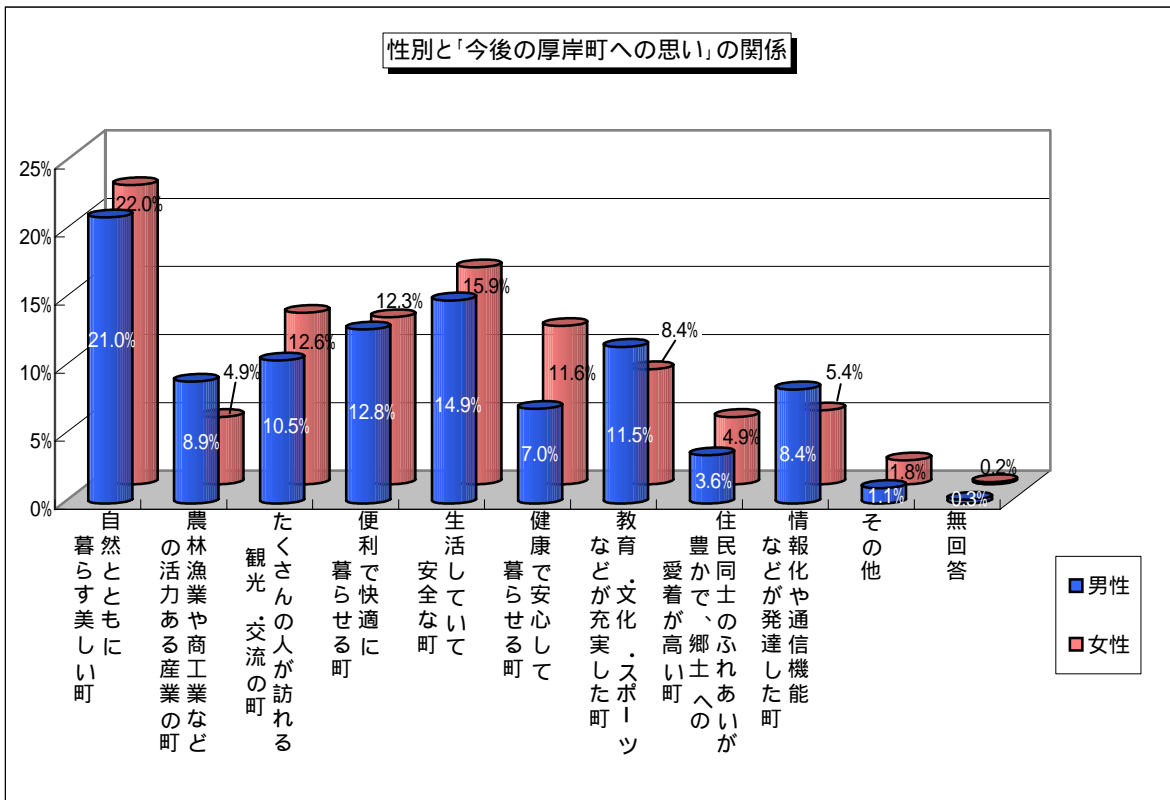
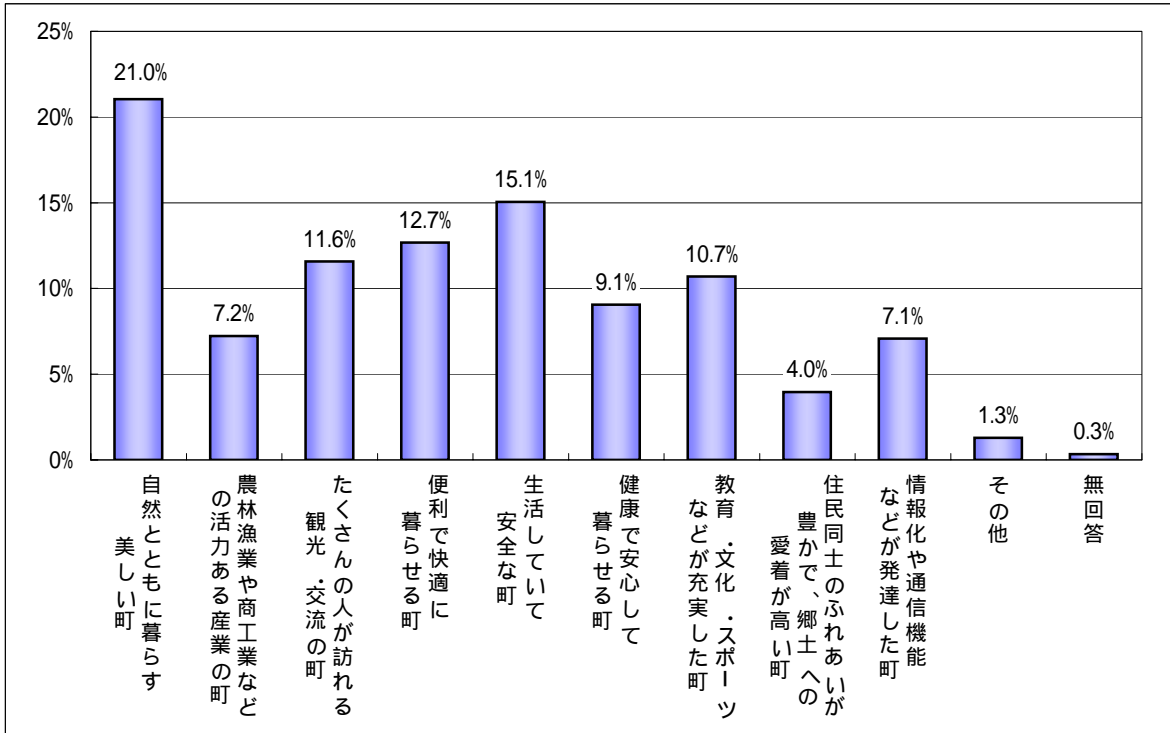
性別と「転居理由」の関係



(注:性別不明、無回答を除いて集計した。)

【問5】 今後の厚岸町について、どのような町になってほしいか。(3つまで選択)

「自然とともに暮らす美しい町」と回答した人が21.0%と最も多く、次いで、「生活していて安全な町」が15.1%、「便利で快適に暮らせる町」が12.7%、「たくさんの人が訪れる観光・交流の町」が11.6%、「教育・文化・スポーツなどが充実した町」が11.6%で合わせると全体の7割を占めている。他の回答については全て10%を下回る結果となった。また、「農林漁業や商工業などの活力ある産業の町」は、7.2%と低い割合になっているが、15歳以上の町民を対象とした町民意識調査では、20.9%と最も多い回答であった。



(注: 性別不明を除いて集計した。)